

町の遊歩道等の整備計画を問う

小山 典男 議員 (自民)

町長 お伊勢山と高根山をつなぐ人道橋が実現へ

質問 過去2回の残堀川ふれあいウォーキングには、多くの町民が参加した。また、土日には町外からのウォーキング愛好者も見かけることが多くなった。このことから、町のウォーキング需要が増加傾向にあると思われる。現状を踏まえ、安全で快適な遊歩道等の整備を急ぐべきと考え、町長に次の点を問う。

問① 全長9kmある7つの遊歩道整備計画は、町長 現在、遊歩道はボランティアや地域の方々の協力を得て管理している。今後は、都

と連携し安全性の確保や自然保護を含め、ルート再構築を図る。

問② お伊勢山遊歩道と高根山遊歩道を結ぶ整備計画は、町長 22年度から、都がお伊勢山遊歩道と高根山遊歩道をつなぐ人道橋の事業に着手する。整備計画は、町長 仲町橋付近に、だれでもトイレを設置するほか、箱根ヶ崎地区に国有地を取得し、ウォーキング利用者の休憩場所や地域住民の交流の場所として活用できるように整備していく。



人道橋予定地付近(町道2号線)

安全・安心まちづくりをすすめて

石川 修 議員 (自民)

町長 一層の充実・強化を図る

質問 町は、平成17年4月に、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的に条例を施行した。21年度から基地再編交付金を基金として様々な施策を実施しているが、次の点について町長の所見を伺う。

問① メール配信の現状について、町長 登録者全体で1,374名となり、火災発生・不審者・イベントなどの情報に加え、インフルエンザの発生状況など約120件の情報を配信している。

問② 徘徊高齢者の位置確認方法は、町長 現在、利用者は2名で、必要など

きに電話やパソコンで位置情報を提供している。

問③ 瑞穂町安全安心まちづくり協議会の活動は、町長 問題点について検討する会議を開催し、また、現状を把握するため、町内巡視を実施している。

問④ 青色回転灯による防犯パトロールの成果と今後は、町長 非侵入盗犯で3%の減、六道山での人名救助もあった。今後も犯罪の発生を予防し、安全で安心して暮らせる町を目指す。



パトロールする青色回転灯装備車

町民会館にエレベーターの設置を

高水 永雄 議員 (自民)

町長 条件が整った時点で設置したい

質問 町には、65歳以上の方が現在6,807人生活しており、全人口の20・16%を占め高齢社会になっている。今後も増加傾向にあるが、多くの方が元気に

積極的に町行事などへ参加している。しかし、町の主要な施設である町民会館ホールの進入路は階段のみであり、高齢者や障がい者などには不便である。そこで、誰もが利用できる施設にするため、エレベーターを設置すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 多くの町民が、各種合会や催し物、税の申告などで利用することの多い施設である。

高齢者や障がい者が利用しやすい施設となるよう、関係機関との調整と財源の確保を急ぎ、条件が整った時点で設置したいと考えている。



町民会館ホールへの階段

町長 多くの町民が、各種合会や催し物、税の申告などで利用することの多い施設である。

こんな質問もありました 住宅耐震診断などの補助制度を。

町長 住宅耐震工事を促進するためには、耐震診断が必要となるので、国や都に対し、耐震診断の促進を働きかけることにも、町としても有効な手段について研究していく。

子宮頸がん予防ワクチンの助成とがん検診無料クーポンの継続について問う

小川 龍美 議員 (公明)

町長 公費助成は時期尚早 無料クーポンは継続

質問 子宮頸がんは、検診と予防ワクチンの接種でほぼ100%予防できる。昨年10月厚生労働省はワクチンを承認し、12月から発売が開始された。しかし、費用が高額なため公費助成が求められる。また、今年度実施された乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンは5年間の継続が不可欠だが、国は来年度予算を半分以下に削った。町負担で事業を継続すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 この予防ワクチンは、任意接種で、発売後間もない。そのため、全国の自治体での取り組みは少なく、ワ

クチンの供給も十分でない。公費助成は時期尚早と考えている。がん検診無料クーポン事業については、受診率の低下を防ぐため、国からの補助金の減額分を町が補い、新年度も事業を継続する。

今後、女性特有のがん検診対策を、国の全額負担で取り組むよう要請していく。



がん検診無料クーポン(写真は21年度のもの)

こんな質問もありました 長岡図書館の存続を。

町長 町と連携し、地域の実情を見ながら、結論を出していきたい。